

【第5期計画(具体的な取り組み項目)・年次計画表】 ※ 記載例

エリア名: _____

基本方針	施策の方向性	具体的な取り組み項目	重点	取り組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)様々な交流活動による地域のつながり・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	1. 地域ぐるみで声掛けや挨拶運動の奨励	・実施エリア及び活動内容検討(実施自治会等)	・2自治会エリアで実施	・新規1自治会エリア(計3ヶ所)	・新規1自治会エリア(計4ヶ所)
				2. ふれあい・いきいきサロン1ヶ所開設→4ヶ所開設を目指す	・サロン開催会場の検討	・新規1か所(計2ヶ所)	・新規2か所(計3ヶ所)	・新規1か所(計4ヶ所)
				3. 未実施のふれあい・いきいき散歩クラブ結成の奨励	-	・実施エリア検討(実施自治会等)	・新規1クラブ結成	・新規1クラブ結成(計2クラブ)
	②健康や介護を通じた関係づくり	○	1. シニア体操(介護予防体操)クラブ1ヶ所実施 ※他地域に対し取り組みの奨励	・既存1ヶ所継続	・実施エリア検討(実施自治会等)	・新規1か所(計2ヶ所)	・2ヶ所継続	
(2)エリア、世代やハンデを越えた交流と地域の様々な団体と連携・協働する	③高齢者、障害者、子どもの枠を超えた全世代型の交流機会の創出	○	1. 公園を活用し、高齢者向けスポーツの奨励	・グラウンドゴルフ体験会の実施	・ニュースポーツ体験会の実施(モルック・ターゲットバードゴルフ)	・ニュースポーツ体験会の実施(モルック・ターゲットバードゴルフ)	・ニュースポーツ大会の実施	
			④福祉施設や福祉活動団体、大学、NPO等との連携・協働	1. 体験講座の開催(ガイドヘルプなど)				
あなたもわたしも地域の一人、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘						
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり		1. 他地域の活動事例聴取及び実施検討	-	・見守り活動地区の事例聴取(助け合い服務)	・活動検討「意見交換会の実施」	・活動検討
		⑦活動団体同士の連携・交流	○	1. スポーツ振興会・青少年育成委員会・消防団等、地域団体との連携の強化	・関係団体との意見交換会開催の検討(実現性検討)	・意見交換会実施	・意見交換会実施	・意見交換会実施
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取り組みを進める	⑧防犯活動の実施		1. 防犯パトロール及び「振り込め詐欺」等対策、啓発活動の実施(講習会の開催)	・実施	・実施	・実施	・実施
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり						
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信・相談体制づくり	○	1. 地区部会だよりの充実	・年1回発行 ・次年度、増回検討	・年1回or2回発行を目指す	・年2回発行	・年2回発行
		⑪オンライン活用による情報交流						
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施						
	(9)福祉の学びを実践し福祉の人材を育成する	⑬福祉を学び、学習や活動を通じての人材の育成		1. 体験講座の開催(ガイドヘルプなど)	・年1回(地域住民対象)	・年1回(中学生対象)	・年1回(地域住民・中学生対象)	-